

Yumeken

夢けんせつ
DREAM CONSTRUCTORS

秋

2019 Vol.690

◆特集〇話題の焦点

若者が働きたくなる建設業を目指して “働き方改革”の進め方

◆夢インタビュー

琵琶湖の恵みを活かした伝統食と新たな魅力の発信をめざして

◆第25回夢けんせつフォトコンテスト

受賞作品紹介

◆おじゃまします

奥儀建設株式会社



若者が働きたくなる建設業を目指して “働き方改革”の進め方

平成28年度の“調査産業計”の年間総実労働時間が1,720時間であるのに対して、建設業は2,056時間、調査産業計は平成17年度の1,807時間から87時間減少しているのに対して、建設業では平成17年度の2,065時間からわずか9時間しか減っていません*。

このままでは若者の建設業離れが進み、さらなる人手不足を招くことが心配されています。36(サブロク)協定を結べば事実上、青天井になっている残業時間を抑制する規制が、建設業でも令和5年4月から適用されるため、長時間労働の是正に取り組むことは避けて通れない課題です。

人手不足、厳しい工期、天候の影響や長年の慣例などさまざまな要因があって、建設業の労働時間は長くならざるを得ないと言われていますが、地域の中小建設会社でも働き方改革を着実に進めている企業があります。

そこで今回の特集では石川県を取材して、行政と建設会社の取り組みをレポートしました。

*国土交通省「建設業における働き方改革」より



建設業振興グループの富澤勇也主任主事は、「土木部はどちらかと言うと許認可を担当する部署で、経営支援は商工労働部が窓口になるという位置付けですが、建設業サポートデスクはさまざまな相談を受けてそれに合った専門の部署につなぐもの」と、その役割を説明します。



土木部課建設業振興グループの
中専門員(右)と富澤主任主事

「建設業サポートデスクが開設された当時、県内の建設業はリーマンショックの影響などで厳しい状況に置かれていたことから、経営基盤強化や複業化、支払いに関するトラブルなど、建設会社からの相談にワンストップで対応できる窓口を作ろうというのが当初の目的でした」と、土木部監理課建設業振興グループの中健祐グループリーダー。

石川県土木部監理課では平成22年に建設業サポートデスクを開設して、建設会社からの各種相談に対応するほか、毎年「建設業サポートブック」を発行してきました。



働き方改革に取り組む建設会社の事例が紹介されている「建設業サポートブック」

建設会社の相談に ワンストップで対応



館内のいたるところから外の
緑を眺めることができる。

多賀町産の無垢材をふんだんに
使ったエントランスホール

まちづくりの拠点となる平屋の公民館



移動座席を展開すると306席になる“さざゆりホール”

面積の約86%が
森林という多賀

老朽化が進んだ中央公民館を建て替えることになり、公算型コンペで176の応募作品の中から選ばれたのは一級建築士事務所 大西麻貴+百田有希/ottが提案した、面積約2,500平方メートルの木造平屋の公民館。町民みんなてつくる公民館、という考え方で、多賀らしい学びや発見の生まれる場所、これからのまちづくりの拠点となる公民館を目指しました。

そのため、多賀語ろつ会を立ち上げて、多賀町の文化や産業、公民館やこれからのまちづくりについて広く町民や専門家の意見を募り、見学会やプレイベントを実施して、約3年かけて最終のプランに落とし込んでいきました。

306人を収容できるホールや会議室、多目的室、児童室、調理実習室のほか、障がいのある人たちと一緒に仕事や活動を行う「杉の子第2作業所」も併設されています。目的がなくてもだれでも気軽に立ち寄ってくつろげるよう、共用部のあちこちにベンチコーナーや小上がりの畳コーナーなど居心地のよい場所が設けられているのも特徴です。



3つの会議室のほか、自由に使える
デスクが設けられている。



あちこちに居心地のいいベンチなどが設けられている。



2室に分けて使うこともできる和室。



図書コーナーの奥にある児童室



子ども用の木製椅子が置かれた図書コーナー

また、家具も町産材を用いて、町内の建築家やデザイナー、木工所が協働して製作しました。敷地にもともとあった中学校の校並木が、公民館の建設に当たり一部を残して伐採されることになりましたが、その校の木も加工して照明器具に利用されています。

●住 所 滋賀県犬上郡多賀町大字久徳160番地2 ●TEL 0749-48-1800
●https://www.town.taga.lg.jp/contents_detail.php?co=kak&frmlid=1204
●開館時間:火曜日から土曜日、第2、第4日曜日(祝日、年末年始を除く)
※ただし、祝日が第2、第4日曜日と重なる場合は開館

C O N T E N T S

湖国街かどウォッチング……………2	多賀町中央公民館 (多賀結いの森)(多賀町)……………3	特集・話題の焦点……………3	若者が働きたくなる 建設業を目指して “働き方改革”の進め方……………6	第25回……………6	夢けんせつフォトコンテスト 受賞作品紹介……………12	おじやまします……………12	奥儀建設株式会社……………12	夢インタビュー……………14	琵琶湖の恵みを活かした伝統食と 新たな魅力の発信をめざして 『BIWAKODAGHTERS』 オーナー 中川知美さん……………15	ビジネス最前線……………15	特産品を活かしたイベントで 地域の魅力を発信 『直売所甲子園』 イベント部門でグランプリ 道の駅 あいとう マーガレットステーション クイズ……………16	夢けんひろば……………16	「仕事の達人・遊びの達人」………18	さまざまな活動を通して 親睦を深め 建設業のイメージアップを図る 市原 敏さん……………18	近江つまいもの紀行……………19	編集後記……………19	表紙写真 「僕もできたよーCT」黒瀬 俊児 「石橋のある風景」桑原 達夫……………19
-------------------	---------------------------------	----------------	--	------------	--------------------------------	----------------	-----------------	----------------	--	----------------	---	---------------	--------------------	---	------------------	-------------	---

建設業を取り巻く状況が変化したことを受けて、ここ数年は働き方改革にどのように対応していくか、例えば変形労働時間制をどのように導入するかといった相談に対し、社会保険労務士などが直接アドバイスをするということが多くなりました。

サポートブックも当初は複業化を行った建設会社の事例を紹介していたが、最近は女性活躍や残業時間の軽減、業務の効率化といった取り組みを行っている建設会社の事例を紹介するようになりました。

監理課ではその他にも、教育委員会や石川県建設業協会と連携して、県内の高等学校を対象にした出前授業を行っています。工業系の高校だけでなく普通科高校にも案内を行い、希望があった高校に向いて、仕事の内



出前講座でドローン操作する高校生



県主催の働き方改革推進セミナー

容などを紹介したり、現場見学会を行ったりするもので、年間10回程度実施されています。そのほか、「建設業働き方改革推進セミナー」なども開催しています。

担い手確保に直結する働き方改革

担い手確保に直結することから、建設会社の働き方改革に対する意識は高まっています。その中でも休日をいかに増やすかがポイントとなります。石川県でも「いしかわ土日おやすみモデル工事」の導入やゆとりある工期の設定など、発注者としての取り組みにも力を入れています。

「働き方改革については、それぞれの企業で取り組みを進めていくことが求められていますが、少しでも円滑に進められるよう、私たちもさまざまな支援を行っていきたい」と語る中グループリーダー。建設業は時間外労働の罰則付き上限規制について猶予期間が設けられていますが、「他の業種との差が開いてしまつことで、却って建設業の休暇が少なくなることが際立って不利になるのではないかと危惧しています。

「休みが少ない」や「休みが取りにくい」ということが、建設業に興味がある、働いてみたいという若者に二の足を踏ませることにならないよう、今から少しずつ取り組みを進めていくことが求められています。



したことで、急な休みを取らなければならない場合も、現場が混乱することがなくなりました。

もちろん、女性用トイレを設置したり、事務所を禁煙にするなどハード面の整備も進めたほか、現場説明会に女性技術者を積極的に起用するなど、その活躍をPRすることにも力を入れてきました。

昔ながらの建設会社の風土や意識を変えるのは簡単ではありませんが、「トップが本気度を示して、全社員への周知を図ったことがポイントになった」と鶴山秀二経営本部長。「男性、女性ということにこだわらず、その人の能力や個性をどう活かしていくかを重視したい」と社長思いを受けて、人の育て方が変わってきた」と説明します。



「働き方改革が入職促進の鍵を握る」と語る鶴山本部長

女性技術者が活躍することについて鶴山本部長は「社内が明るくなるし、現場周辺の住民のみなさんにも良い印象を持っていただけ」「一緒に仕事をしている男性の技術者や職人さんが大声をあげることもなくなり、現場の整理整頓が徹底できるなどメリットが多い」と指摘します。

クラウド型グループウェア導入でペーパーレス化を実現

業務を効率化して残業や休日出勤を減らす

働き方改革取組事例

完全週休二日制を導入、女性や若者が活躍する建設会社

金沢市にある加賀建設株式会社は、加賀造船株式会社として昭和18年に創業、26年に建設業登録して、港湾・海岸工事から、陸上の土木・建築・リニューアル・維持管理工事まで幅広く手がけてきました。

同社では現場監督や営業などに女性を積極的に採用するほか、完全週休二日制の実施、業務の効率化による残業や休日出勤の軽減などに取り組み、平成28年4月に施行された、女性活躍推進法に基づく、えるぼしの最高位に当たる三ツ星認定を受けました。技術者をはじめ、女性社員に多種多様な活躍の場を設けていることなどが評価



社員の3分の1が女性という加賀建設株式会社



スマートな制服で女性技術者がいきいきと活躍している。

ため、同社では平成29年にクラウド型のグループウェアを導入、休暇などの各種申請や届け出、スケジュール管理、決裁や稟議、受注管理などがオンライン上で行えるようになり、スマートフォンで社外からでも対応できるようになりました。

導入に当たっては、社内に業務改善検討委員会を設置して、社員の意見を募り課題を抽出した後、ルールを決め、紙として残す書類の精査を行いました。ITに詳しい専務がキーマンとなり、ITベンダーに自社のやりたいことを伝えながらプロジェクトが進められました。

現場の作業を終えてから帰社して報告書などの作成を行っていましたが、ペーパーレス化で無駄な時間外労働がなくなり、グループウェアの導入に合わせて完全週休二日制に移行することができました。また、残業を事前申請制にしたことで、各自がその日の仕事についてしっかり把握するようになり、安易な残業がなくなりました。

一人ひとりの挑戦を応援する建設業を目指して

さらに、ビジネスチャット、Slack[®]を導入したことで、若手社員のアイデアや意見が新規事業などにスムーズに反映されるようになりました。20代、30代の社員がたくさんいることで、若者の入職を促し、離職を抑える効果も期待できます。同社では仕事以外でもフットサルや旅行などで交流を図るほか、清掃活動や地域行事にも積極的に参加して、社内「コミュニケーション」の活性化を図っています。「ますます重要性を増す情報化をどのよう

されたもので、中部地方の建設会社として初めてとなる快挙でした。

社員の平均年齢は36歳、約60名いる社員の3分の1が女性という、従来の建設会社の常識を覆すような同社ですが、ここに至るまでにどのような経緯があったのかをうかがいます。

困難を乗り越えて仕事と子育てを両立



出産・子育てと現場監督の仕事を両立した森高さん

土木部課長代理の森高靖子さんが、石川工業高等専門学校を卒業して初めての女性技術者として入社したのは17年前のこと。「就職氷河期で土木科を出た男子ですら求職がなかった時代。女子というだけで面接すらしてもらえなかった中、この会社だけが面接してくれました」と森高さん。

鶴山庄市社長は、現場監督として土木の仕事をしたという挑戦を後押ししたいと、森高さんの採用を決めたそうですが、入社当時は女性技術者が働きやすい環境には程遠かったと振り返ります。

女性は結婚・出産を機に仕事を辞めるのが当然といった企業風土でしたが、仕事を取るか、子どもを取るかという選択を迫られることに疑問を感じた森高さんは、「子どもを産みたいし、仕事も続けたい」と社長に訴えて、産休、育休取得の第一号となりました。産休や育休の制度は当時からあったのですが、利用されたことはありませんでした。

地域貢献活動にも若手社員が積極的に取り組んでいる。



地域のイベントも社員間のコミュニケーションの場になっている。

に進めていくか」「土木建築の教育や仕事の経験がない人材を採用した場合どのように育ていくか」「女性管理職を増やしていくためにはどうすればいいか」「建設業としてSDGsにどのように取り組んでいくか」など、これからもさまざまな課題に向き合いながら、要となる、人づくり」に注力し、社員一人ひとりの挑戦を応援できるというところに企業価値を置く建設会社を目指したいという鶴山本部長。女性働きやすい建設会社は男性社員にも若手社員にも働きやすく、多用な考え方や働き方が受け入れられる企業風土なら、時代の変化にもフレキシブルに対応していけるということを強く感じることができました。

若者が働きたくなる建設業を目指して “働き方改革”の進め方

8カ月の休暇を取って仕事に復帰した後も苦勞の連続でしたが、家族に支えられて現場監督としての仕事をなんとか続けることができたという森高さん。2人目を出産した時は、保育園の申請などの要領もわかっていたので、4カ月で入園することができ、7カ月で仕事に復帰できました。

仕事を続けられた理由について森高さんは、「子どものためにがんばれたと思います。子どもが小さい頃は年末の現場パトロールなどによく連れていきました。私の仕事をよく理解してくれたし、私が現場監督を務めた公園が完成した時はとても喜んでくれました」と語ります。

そして仕事の魅力について、「成果物が目に見えないことが多いんですが、ライフラインに関係する工事が多くて、それだけに暮らしたに役に立つ仕事をしているんだなと思えます」と、やり甲斐と誇りを感じておられることが伝わってきました。

全社をあげて女性の活躍をサポート

その後、森高さんが活躍している姿に憧れて、工業高等専門学校の後輩が女性技術者を目指して入社すると、その頃から女性社員に対する社内の見方も変わってきました。

男女ともに働きやすい現場にするため、男女共同チームによるグループディスカッションを行ったり、育休、有休を積極的に利用するよう社員に働きかけるようになり、時短勤務などを取り入れて従来の制度をより使いやすくし、全社をあげて女性の活躍に協力できる体制を整えてきました。

また、基本的に現場の管理者を複数体制に

優秀賞



滋賀労働局長賞
「みんなの夢に向かって素敵な保育園をつくる」
チュティ トウ ハ〔滋賀県〕

低いカメラ位置で捉えたことで、真剣な子供の表情、サポートする人との繋がりがよく伝わります。男性の顔が影になり子供に視線がいき、奥の子供の視線もよい。

一般社団法人滋賀県土木施工管理技士会会長賞
「ドローンよー！いいものを撮ろっ！」
浦合 洋子〔滋賀県〕

ドローンは重要な戦力。いかにも操るか、奥にある重機と同じで練習に練習。画面の映像が見えればと惜しみますし、操作する手を写したい。



特別賞



BBCびわ湖放送株式会社賞
「駆け抜ける傍らで」荻野 誠〔滋賀県〕

良いお天気で「のぞみ」が引き立ち、傍で作業する姿を捉えたタイミングは抜群ですが、空を少なく下を入れ高所での作業であることも見せて欲しかった。

PHOTO 第25回 CONTEST 入賞作品

●審査員／滋賀県写真連盟 会長：澤野 二郎 並びに主催者

- 主催／一般社団法人滋賀県建設業協会
- 後援／滋賀県、滋賀労働局、公益社団法人滋賀県建設産業団体連合会、西日本建設業保証株式会社滋賀支店、滋賀県建設事業協同組合、一般社団法人滋賀県土木施工管理技士会、建設業労働災害防止協会滋賀県支部、独立行政法人勤労者退職金共済機構建退共滋賀県支部、びわ湖放送株式会社、株式会社SIN
- 協賛／滋賀県写真連盟、滋賀県カメラ材料商組合、フジカラープロフェッショナルラボ(株)トミカラー

第一部
「建設業ではたらく人々」
第二部
「建設物がある滋賀の風景」

	応募者数	応募点数	第一部	第二部
総数	173人	298点	138点	160点
内訳				
県内	118人	204点	71点	133点
県外	55人	94点	67点	27点

入賞作品展のお知らせ 入場無料

- 10月19日(土) 滋賀けんせつみらいフェスタ2019 大津港 (滋賀県大津市浜大津五丁目5-1)
- 令和2年4月中旬頃 愛荘町立愛知川びんてまりの館 (滋賀県愛知郡愛荘町市1673)

審査後記

滋賀県写真連盟会長 澤野 二郎

前回より県外の応募者が増え173名298点の応募をいただき、ありがとうございました。

第一部では、働く人々と言うことで人物のアップの作品が多く、周りを入れなかったために環境や雰囲気伝わってこなかったのは残念です。画面の外を感じさせ、想像させることが大切です。

第二部では、いろんな場所の発見、カメラを通した新しい視覚の写真に出逢え、応募者の努力が感じられました。次回も若者や子供たちに夢を与える、働く人々の生き生きとした姿を、あなたのカメラアイで未だ見ない滋賀の風景を、作品に仕上げてください。

第一部「建設業ではたらく人々」(デジカメ・カメラ可)

グランプリ



滋賀県知事賞
一般社団法人滋賀県建設業協会会長賞
滋賀県写真連盟会長賞
「僕もできたよーICT」黒瀬 俣児〔熊本県〕

評

操縦を教える二人、大きなヘルメットを付け真剣に取り組む子供、三人の表情を上手く捉えました。背後の重機の入れ方もよく、イベント会場の様子も想像できます。

建設業労働災害防止協会滋賀県支部長賞
「豚コレラ防疫対応」蔭山 啓介〔滋賀県〕

評 このような仕事にも従事されていることを、よく知らせてくれました。画面の構成人の動きはよかったが、残念なのは白衣の人達が見えにくいことです。



独立行政法人勤労者退職金共済機構建退共滋賀県支部長賞
「路づくり」池田 孝保〔滋賀県〕

評 熱せられたアスファルト、蒸気で人が揺らぎその熱気を端的に捉えています。背後の木々を少しぼかす事で、主題を浮き立て現場の様子をよく伝えています。

U22 特別賞



夢けんせつフォトコン実行委員会 委員長
「地域貢献」北川 歩実〔滋賀県〕

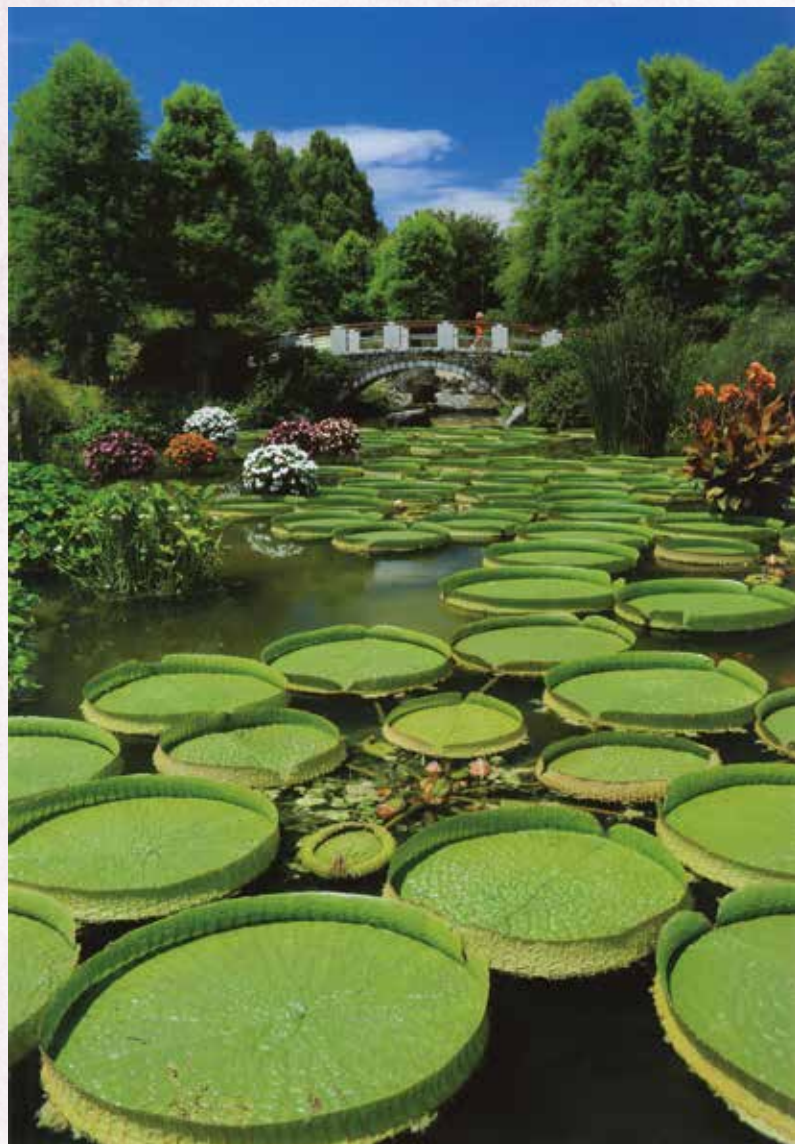
評 大きな機械でならした後、さらに細かく整える手間のかかる作業、何事も丁寧に。新入社員、懸命な作業姿が凛々しい。

第二部「建設物がある滋賀の風景」

(デジカメ・カメラ可)

評

コントラストを高めに仕上げ、縦位置にまとめてオニバスを強調し美しくまとめています。橋を渡る人を配すなど細やかさが橋の存在を強調しました。



グランプリ

滋賀県知事賞
一般社団法人滋賀県建設業協会会長賞
滋賀県写真連盟会長賞
「石橋のある風景」
栗原 達夫 [滋賀県] 〈滋賀県草津市〉

優秀賞



西日本建設業保証株式会社滋賀支店長賞

「公園日和」

村山 哲哉 [滋賀県] 〈滋賀県長浜市〉



青空に上がる噴水、カメラ位置を変えたことで普段目にする風景も新鮮にみえる。遠くには桜の上にお城を配し季節よく公園を美しい形にまとめました。



滋賀産業新聞賞

「見越しの松のある町並み」

玉田 美佐緒 [滋賀県] 〈滋賀県近江八幡市〉



雪が降っている時に撮影されたので、遠くは霞み手前は建物の特徴を強調し、見越しの松もグレーの空に存在感があり、古い町並みの魅力を引き出しています。



「背中」

水野 華織 [滋賀県]



「わかる？」

仲川 幸延 [愛媛県]



「うれしい初体験」

河野 サエ子 [山口県]



「心も道具も研ぎ澄ます」
村上 正幸 [兵庫県]



「世代、性別、国籍を超えて伝えたい思い」

佐野 正樹 [滋賀県]



「大きい物件でも細かいことの始まり」

グエン アイン トゥアン [滋賀県]



「高圧線撤収作業」
清水 克己 [埼玉県]



「慎重に」

杉浦 幸雄 [愛知県]



「素晴らしい
チームワーク」
島山 敏郎 [東京都]



「高所作業は
お手のもの」
藤田 文字 [滋賀県]



「トンネル作業」
宮沢 千春 [長野県]



「復元」
寺尾 幹男 [滋賀県]



「ハロウィンの日」

山田 幸子 [滋賀県]

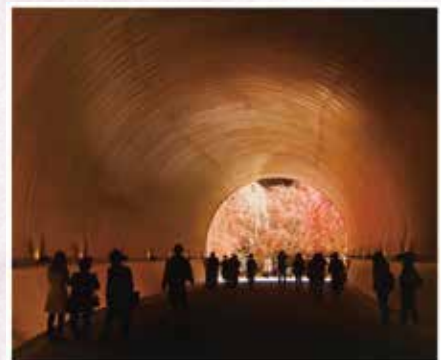
奨励賞



「疎水の春」
渡辺 駿介
〔滋賀県〕〈滋賀県大津市〉



「神あかりの社」
若林 武司
〔滋賀県〕〈滋賀県彦根市〉



「春の世界へ」
強力 美津雄
〔滋賀県〕〈滋賀県甲賀市〉



「銀河転回装置」
上西 慶子
〔滋賀県〕〈滋賀県米原市〉



「アーバン夜桜」
矢野 暢英
〔滋賀県〕〈滋賀県草津市〉



「梅花藻の咲く水辺」
丹羽 明仁
〔愛知県〕〈滋賀県米原市〉

奨励賞



「橋にかかる新緑」
岸岡 一彦〔滋賀県〕〈滋賀県大津市〉



「雨上りの「令和大桥」」
田村 宏〔京都府〕〈滋賀県大津市〉



「林立する橋脚」
上杉 裕昭〔三重県〕〈滋賀県甲賀市〉



「登り窯の火入れ」
金井 正顕〔京都府〕〈滋賀県甲賀市〉



「何処へ」
瀬川 正昭〔滋賀県〕〈滋賀県東近江市〉



滋賀県建設事業協同組合理事長賞
「乙女ヶ池の太鼓橋」本庄 重夫〔滋賀県〕〈滋賀県高島市〉
魚眼の歪が少し残りますが、レンズ効果で大きな池に見える。撮影時間帯がよく映り込んだ橋、雲が効果的で美しく、鳥の群れも捉えたタイミングは良かった。



公益社団法人滋賀県建設産業団体連合会長賞
「安全祈願」野勢 誠〔大阪府〕〈滋賀県野洲市〉
カメラ位置をよく選び、法被の後姿と本殿、青空の配分がよく、爽やかな五月のお祭りを視覚よくとめました。

入選



「3連レンガアーチ」
上野 邦雄〔滋賀県〕〈滋賀県米原市〉



BBCびわ湖放送株式会社賞
「あの日のグラウンド」
川崎 秀朗〔滋賀県〕〈滋賀県草津市〉
仕事で益々活躍するドローン撮影、誰もが見たい鳥瞰図。グラウンド、田んぼ、川を隔てた町並み、地域の地形構成を良い位置、角度で撮影し成功しました。



「うぐい川の千本桜」
村田 朝男
〔滋賀県〕〈滋賀県甲賀市〉



「野洲川を渡る」
福田 尚人〔滋賀県〕〈滋賀県守山市〉



「びわ湖疏水観光船」
大町 誠一〔滋賀県〕〈滋賀県大津市〉

「社員よし」「顧客よし」「社会よし」を掲げ 「創造と挑戦」で新たな未来を開く

奥儀建設株式会社

東近江市岡田町81-1

代表取締役社長 奥 宗利



社屋

創業50年を経て新たなステージへ

昭和40年創業の奥儀建設株式会社。平成27年には創業50周年記念式典を開催して、新たなステージへのチャレンジを誓いました。



平成27年に行われた創業50周年を祝う式典

「創業者の父が一人で始めたもので、当初は奥儀建材という社名で砕石などの資材を納入していました」と言う奥 宗利社長。42年に建設業許可を取得してからは、公共工事など順調に仕事を増やしながら、会社を大きくしてきました。

奥社長は大学卒業後、旅行会社に4年間勤務した後、同社に入社して営業としてスタートしました。「旅行会社は少額な手数料を積み重ねて利益をあげていましたが、建設業で

の新技術も視野に入れながら、効率化や業務改善を図ることで活路を開こうとしています。

また、平成2年に他社に先駆けて産業廃棄物リサイクル事業をスタートした同社ですが、近年はリサイクル事業に参入する企業が増え、競争が激化しています。



「以前は土木や建築、リサイクル事業といくつもの柱があったが、今は舗装に注力して、維持・補修・管理などの仕事も確実に受注していくことが大切になる。今後、他に柱となる事業を模索していくことも必要になる」と考えています。

働きやすい環境づくりにも取り組む

同社でも人材確保が大きな課題となっており、働きやすい環境づくりを進めてきました。例えば、子育て世代の社員をサポートするため、くるみん取得企業（次世代育成支援対策推進法にもとづく認定企業）となり、所定外労働の制限や年次有給休暇の取得率向上などに取り組んでいます。

「創造と挑戦」を社是に、「社員の幸福を追求する」「顧客の幸福を追求する」「社会の幸福を追求する」を経営理念として掲げる同社では、社会貢献活動にも積極的に取り組む。除雪や災害復旧などの緊急対応のほか、「美知メセナ」に参加、毎月1回本社前の道路の

は大きな金額の入札もたびたびあってカルチャーストックを受けました」と当時を振り返ります。

そして、6年後の平成13年に代表取締役就任。「朝礼でいきなりトップの座を譲ると言われた時は驚きました。元気なうちに継承を終えておきたかったようで、社長就任後は社員に支えられてここまでやっていくことができました」と語ります。社長室はなく、社員と同じフロアで毎日仕事をすること、意思疎通がスムーズに行えるようにしています。

豊富な実績を誇る舗装工事を強みに

売上の55%（令和元年7月決算）を舗装工事が占めるという同社。豊富な実績と高い技術力が評価され、長い付き合いの顧客のほか、元請企業や同業者からの発注も多く、公共工事が減り民間工事にシフトする中で経営が厳しさを増す中、ICTなど

清掃を行っています。そのほかにも重機を使ったグラウンド整備や除草などの学校奉仕活動を年2〜3回実施したり、保育園や幼稚園への遊具などの寄贈や桜の木の植樹、現場見学会などを行ってきました。

協会青年部の創設時のメンバーとしても活躍、現在は理事として、また東近江支部でも協会活動に尽力されている奥社長。「1社だけで仕事ができるものではなく、横のつながりが大切になってくる。協会活動に協力することで、良いつながりを構築し、互いを高め合っていくことができれば、業界の発展にもつながるのではないか」という言葉が印象に残りました。

除雪にも活躍する重機モーターグレーダー



毎月1回実施している清掃活動「美知メセナ」



夜を徹して行われる除雪作業



土砂崩壊を防ぐための前川支流砂防工事（日野町）



びわこ文化公園の駐車場再整備工事（大津市）



奥 宗利代表取締役

特産品を活かしたイベントで地域の魅力を発信 『直売所甲子園』イベント部門でグランプリ 道の駅 あいとうマーガレットステーション

秋のイベント案内『大秋穫祭2019』

- 10月20日(日) 直売館ふれあい青空市
模擬店のほか、ステージイベントや
体験コーナーも!
- 11月3日(祝) アマチュアバンドコンサート

道の駅
あいとうマーガレットステーション
東近江市妹町184-1
0749-46-1110
<http://www.aito-ms.or.jp>

摘取体験も
できる花畑



直売甲子園授賞式の大平館長(右端)

子どもと一緒に楽しめる
イベントを企画
「お子さんと
いっしょに気軽に
訪れて、あまり
お金をかけずに
楽しい時間を過
ごしていただき、

子どもと一緒に楽しめる
イベントを企画
「お子さんと
いっしょに気軽に
訪れて、あまり
お金をかけずに
楽しい時間を過
ごしていただき、

子どもと一緒に楽しめる
イベントを企画
「お子さんと
いっしょに気軽に
訪れて、あまり
お金をかけずに
楽しい時間を過
ごしていただき、

子どもと一緒に楽しめる
イベントを企画
「お子さんと
いっしょに気軽に
訪れて、あまり
お金をかけずに
楽しい時間を過
ごしていただき、



子ども連れてにぎわうイベント



毎年好評の「梨まつり」と「ぶどうまつり」

例えばメロンまつりでは種飛ばし大会や早食
い競争、梨まつりでは梨の皮むき競争や早食
い競争、ぶどうまつりではぶどうすくい、皮
飛ばし大会など、誰でも気軽に参加できる催
しを工夫してきました。ほかにステージイ
ベントも企画しています。

例えばメロンまつりでは種飛ばし大会や早食
い競争、梨まつりでは梨の皮むき競争や早食
い競争、ぶどうまつりではぶどうすくい、皮
飛ばし大会など、誰でも気軽に参加できる催
しを工夫してきました。ほかにステージイ
ベントも企画しています。



大人気の早食い競争



米粉のピザ焼き体験もできる



BIWAKO DAUGHTERS
●野洲市菟浦230
●077-532-7779
●9:00~17:00 水曜日定休
●<http://www.biwakodaughters.jp>



子どもと一緒に楽しめる
イベントを企画
「お子さんと
いっしょに気軽に
訪れて、あまり
お金をかけずに
楽しい時間を過
ごしていただき、



外国の魚屋さ
んをイメージ
した店内

子どもと一緒に楽しめる
イベントを企画
「お子さんと
いっしょに気軽に
訪れて、あまり
お金をかけずに
楽しい時間を過
ごしていただき、

子どもと一緒に楽しめる
イベントを企画
「お子さんと
いっしょに気軽に
訪れて、あまり
お金をかけずに
楽しい時間を過
ごしていただき、

琵琶湖の恵みを活かした伝統食と 新たな魅力の発信をめざして

子どもと一緒に楽しめる
イベントを企画
「お子さんと
いっしょに気軽に
訪れて、あまり
お金をかけずに
楽しい時間を過
ごしていただき、



可愛い瓶に詰められた湖魚の佃煮

子どもと一緒に楽しめる
イベントを企画
「お子さんと
いっしょに気軽に
訪れて、あまり
お金をかけずに
楽しい時間を過
ごしていただき、



『BIWAKO DAUGHTERS』
オーナー 中川知美さん

子どもと一緒に楽しめる
イベントを企画
「お子さんと
いっしょに気軽に
訪れて、あまり
お金をかけずに
楽しい時間を過
ごしていただき、



売上の一部が琵琶湖の保全活動に
寄付されるチップス



鮎ずしのサンドウィッチなど
新しい食べ方も提案

子どもと一緒に楽しめる
イベントを企画
「お子さんと
いっしょに気軽に
訪れて、あまり
お金をかけずに
楽しい時間を過
ごしていただき、

創立70周年記念誌の発行に向けて

現在、建設業協会創立70周年記念誌の制作が進んでいます。過去をふりかえるだけでなく、これから10年後の滋賀がどうなっていくのかをテーマにしています。

広報委員会では、三日月知事と桑原会長の対談のほか、舞鶴工業高等専門学校を訪ねての対談、滋賀県防災センターでの対談、彦根市外町での対談などを実施しました。



青年部環境委員会事業 「生き物を守り育てる河川ウォッチング」

令和元年7月10日(水)、青年部の環境委員会が甲賀市立伴谷東小学校の5年生59名を対象に、環境校外学習を開催しました。

まずはじめに、小学校近くの思川でゴム堰堤を見学しました。川の水が少ない時はゴム布袋を膨らませて水をため、大雨の時は萎ませて川の水があふれないように水位・流量制御を行い、台風や大雨による洪水などを防いだり、田畑への水の有効活用が行われる仕組みをわかりやすく説明しました。

その後、ドローンで上空から記念撮影を行うと、空高く舞い上がるドローンに歓声が上がりました。

学校へ戻り、VRで琵琶湖と琵琶湖水源の池の水中の潜水バーチャル体験や、昨年の広島における豪雨災害復興現場の土砂崩れ、地滑りのバーチャル体験のほか、ペットボトルを使って雲を作る実験を行いました。

その後、水の不思議や琵琶湖の水が汚れる理由、水の災害等について話し合い、下水道整備の大切さについても学習しました。また、校外学習の記念にオリジナルエマージェンシーバッグ作りを楽しんでももらいました。



フォトコンテスト審査会を開催

8月6日(火)、夢けんプラザにおいて第25回「夢けんせつフォトコンテスト」審査会が開催されました。全国から173人の応募があり、第1部「建設業ではたらく人々」に138点、第2部「建設物がある滋賀の風景」に160点の作品が集まりました。

そして、滋賀県写真連盟会長、主催者らによって厳正な審査が行われ、各部門のグランプリ1点を含む入賞作品43点選ばれました。入賞作品は10月19日に開催される「滋賀けんせつみらいフェスタ2019」の会場で展示されます。



建設界野球連盟 第56回大会始まる

今年で56回目を迎えた滋賀県建設界野球大会の開会式が、8月31日(土)に全27チームの参加により大津市の皇子山球場で開催されました。開会式に引き続き、この日は19試合が行われ、熱い戦いが繰り広げられました。



滋賀県建設業協会の活動について
ご紹介するコーナーです。
協会広報委員会のフェイス
ブックもあわせてご覧ください。

夢けんひろば

滋賀けんせつみらいフェスタ2019

10月19日(土)、大津港前イベント特設会場で開催される「滋賀けんせつみらいフェスタ2019」。今年も、大人気の建設車両試乗体験やバーチャル現場探訪など、たのしい展示や体験メニューが盛りだくさん。

ステージショーや、建設現場の見学会、ぬりかべ体験コーナーなど、大人も子どもも1日楽しめるイベントとなっています。

来場プレゼントや豪華賞品が当たる抽選会もあって、楽しみながら建設の仕事の魅力にふれ、最新技術などを学んでいただける滋賀けんせつみらいフェスタ、ぜひ、会場に足を運んでみてください!



10月19日(土)
10:00~15:30
〈小雨決行〉



体験コーナー

- 橋の模型展示(実際に渡れます)
- 宝(天然石)さがし
- ミニテラポット制作体験 ※要事前予約
- 建設車両の試乗体験、最新型建設機械の展示
- バーチャル現場探訪と写真撮影
- 距離あてゲーム
- ミニチュア家具に色を塗ろう
- 木組み体験
- 銅板レリーフ制作体験
- はく離電線アート体験
- シーリング体験
- プロが教える!ぬりかべ体験コーナー
- 新名神ドライブシミュレーター など



ステージイベント

- 石鹿太鼓による演奏
- 木下洸希 ジャグリングショー
- 滋賀大学附属中学校音楽班 吹奏楽演奏
- 大津高校、草津東高校、大津清陵高校 軽音部演奏
- 膳所高校 吹奏楽演奏 など

出前建設
フェスタを
開催しました!

「滋賀けんせつみらいフェスタ2019」の開催に先駆けて、8月4日(日)に平和堂今津店で、出前建設フェスタを開催しました。
ドローン飛行やボールすくい、ぬりかべ体験などのブースを設けて、買い物に訪れた親子連れに滋賀けんせつみらいフェスタの開催をPRしました。

前号の答え
ツリーハウス

パズル&クイズ当選者

丹治 徳彦さん
 文本 時男さん
 那須 文英さん
 木原 雄三さん
 川島 幹雄さん
 松浦留美子さん
 青木 秀範さん
 永井紅美恵さん
 山本 文彦さん
 福井 洋子さん

応募方法

- P&Q及びアンケート(返信用添付ハガキ)の両方にお答えいただいた方の中から抽選により粗品を進呈します。ふるってご応募ください。
- 別のハガキにてご応募の方も住所、勤務先(学校名)、氏名及びP&Qの答え、アンケート、メッセージ等を書いて送付してください。
- 締め切り 令和2年1月20日必着
- あて先 〒520-0801 大津市におの浜一丁目1-18 (一社)滋賀県建設業協会 広報委員会

季刊夢けんせつ秋号

2019年(令和元年)10月10日

通巻第690号

発行 一般社団法人滋賀県建設業協会

〒520-0801 大津市におの浜一丁目1-18

TEL.077-522-3232(代)

FAX.077-522-7743

http://www.yumeken.or.jp

企画編集 広報委員会

協力・印刷 宮川印刷株式会社

創業80年、湖南市にある近江つけものの『山上』が、季節限定のお漬物や新商品を実際に食べていただいております。オープンした『近江漬物ばいきんぐ山上茶寮』。季節ごとに変わる旬の野菜を使ったお漬物や定番のお漬物のほか自家製のキムチや白菜、近江牛の肉味噌なども人気。チーズの味噌漬けや赤こんにやくの味噌漬けなどもあって、さまざまな素材や漬け方によるお漬物の多彩な味が楽しめるのが魅力です。



常時20種以上のお漬物が楽しめる。

江の伝統陶芸「下田焼」を使用。柚子のシロップ漬とチーズのハチミツ漬を、最高の皮にはさんだりくらっকারにのせていただくデザートもユニーク。ご飯、味噌汁、デザートももちろんおかわり自由です。

看板商品の「下田なす」は10月中頃まで。11月からは近江伝統野菜を代表する「日野菜」のお漬物が登場します。



近江の素材にこだわった茶寮バイキング

山上茶寮「近江漬物バイキング」(彦根市)



キャッスルロードにオープンした山上茶寮

山上彦根金亀城店
 ●彦根市本町2丁目1番5
 ●TEL.0749-47-3688
 ●http://www.yamajou.co.jp/shop/index.php?Page=001-004
 ●営業時間
 月～金 11:00～15:00(最終入店14:30)
 土日祝 11:00～16:00(最終入店15:30)

After Word

今年は梅雨入り梅雨明けが遅く、短い夏となりました。
 今年の冬も暖冬との予想もありますが、雪の季節が本格化するまでに備えはしておきたいですね。

さて、今回の取材では石川県の土木監理課と金沢市内にある建設会社を訪れ、働き方改革について、行政と建設会社の取り組みを取材してきました。誌面の都合上紹介しきれなかった事や、本当に知りたい具体的な工夫など、今後折を見て紹介できたらと思います。

とても参考になるお話を聞いたこともよかったですが、さすが金沢だけあって、お昼に食べたお寿司が美味しかったです。有意義な取材になりました。



中央前列左が市原部会長



毎年甲賀市で開催される5時間耐久リレーマラソンにも過去2回出場しました。1グループ2～10名のメンバーで、5時間トラックを走り続けて周回数を競うもので、応援が集まった家族とともにバーベキューをしながら楽しい時間を過ごしました。出場のきっかけは地元への催しに参加して建設業をPRしたいということで、今年の秋も参加を予定しています。



出前授業を終えてドローンで記念撮影

仕事の達人、遊びの達人 私のオフタイム

さまざまな活動を通して親睦を深め建設業のイメージアップを図る

滋賀県建設業協会 甲賀支部青年部会長

株式会社市原建機 市原 敏

建設業協会甲賀支部青年部が設立されて5年、これまでさまざまな活動に取り組んできました。その一つに市内の小学校で行う出前授業があります。昨年は4年生を対象に建設業の仕事を紹介したほか、堤防の役割を説明するため模型を作って水を流す実験を行ったり、土のう作り体験などを行いました。

また、今年6月には4名の中学生をインターンシップとして受け入れ、1日1社ずつまわって、河川工事や建築工事現場などで体験学習を実施して、建設業への理解を深めてもらいました。

そのほかにも会員の親睦を深めるため、オフタイムにさまざまな活動を行っています。今年から始まったフットサルは、毎月第2金曜日の18時半から2時間、20代から50代までのメンバーが世代を超えて市内の体育館で汗を流しています。



出前授業では模型を使って堤防の役割を説明した。



インターンシップで4名の中学生を受け入れた。



出前授業での土のう作り体験

- 答え
- き
- 1 誰にでも如才なくふるまう人
 2 行いが正しくつばなこ
 3 皮の代替品
 4 技術革新による社会の大変革
 5 体を使って仕事をすること
 6 何日仕事をしたか
 7 スポーツ選手などが改めて契約を交わすこと
 8 農産物などを人の手でより有用にしていること
- 8 品
- 7 契約
- 6 稼
- 5 肉
- 4 産業
- 3 合
- 2 品行
- 1 八



パズル クイズ

8つの四文字熟語を完成させてください。共通する□の漢字を組み合わせて……
 ヒント 特集「話題の焦点」

